



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

# 鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

## 12月の行事予定

12月	
1	(土)
2	(日)
3	月 卒業考査(3日目) 中間考査(2日目)
4	火 卒業考査(4日目) 中間考査(3日目)
5	水
6	木 金曜校時
7	金 1・2年クラスマッチ 3年木曜校時
8	(土) 県民大学「悠々」講座
9	(日)
10	月 学年朝会 学校安全の日
11	火
12	水 ダンス発表会(7限)
13	木
14	金 1年郷土を知る学習
15	(土) 1・2年悠学講座 1年料理講習会 スクールカウンセリング④
16	(日)
17	月 全校朝会
18	火
19	水
20	木 45分×7限
21	金 45分×6限(7限カット) 大掃除(70分)
22	(土)
23	(日) 天皇誕生日
24	月 振替休日
25	火 冬季休業
26	水
27	木
28	金 学年集会 実力考査時間割発表
29	(土) センター
30	(日)
31	月

### 「雌伏の時から雄飛の時」

教頭 神田芳文

センター試験まで五十日余りを残すだけとなってきた。三年生にとっては今が一番きつい、胸突き八丁のところにかかっているわけだが、ここまで来たら志望校に対する「思いの強さ」が勝負を決することになるのだと思う。全教科完璧な状態で受験に臨む人はいない。不安もあるだろうが、これまで栄冠を勝ち得た先輩たちも等しく味わった生みの苦しみであるし、苦しい時が伸びる時だと考え、自分を信じて最後の最後まで頑張ってもらいたい。

さて、一・二年生の中に普段から学習や部活動に一生懸命取り組んでいるが、なかなか思ったような結果に結びつかずに悩んでいるという人は、いないだろうか。中には、全てを放り出してしまいたいと思っている人もいるかもしれないがここで投げ出したしまったら、始めから何もやっていなかったことと同じになる。今は、基礎固めの時だと考え、じっと耐えて継続していくしかない。ある意味、こういう時期は、諦めずに継続する才能が一番大事な才能だとも言える。

「見た目に効果の表れることより、徒勞と見られることを重ねてゆくところに、人間の希望が実るのではないか」とは、山本周五郎の『赤ひげ診療譚』の中にある言葉である。

例えるならば、植物や野菜の成長に似ている。植物や野菜でも、種を蒔いて、すぐに花や実をつけてくれればいいのだが、そううまくいくはずがない。徒勞とも思えるようなしつかりとした土作りをし、地道に水や肥料をやっていく中で立派な花や実りを期待できるのではないかと、というのだ。

学習でも部活動でも、努力の量が、最終的には成果となって結実する。頭の中

### 文化講演会

～漂泊人からのメッセージ～

十一月一日(木) ノンフィクションライター・アイリッシュ・ユ氏をお迎えして文化講演会が行われた。ジェフリー氏はアメリカで生まれ、様々な経験を経て一九九八年より川辺町で生活されており、その異色の経歴に生徒達は講演前からジェフリー氏の講演を楽しみにしていた。

講演では、スライドも用いながら流暢な日本語で二十代の頃の考え方や、現在の生活についてなど、時折冗談を交えながらわかりやすくお話ししてください、その人柄溢れる語り口は、聴衆を魅了した。講演会後の生徒からは、「とにかく面白くて、色々なことを考えさせられた講演だった。ジェフリー氏の『お金持ちは大変だけれど時間持ち』という言葉が大変印象的だった」という感想が寄せられた。一見同じことを繰り返しているような私たちが日常も、時間の使い方によってもっと豊かなものになるかもしれない。この講演会をプレゼントしてくださった二十八回窓生に感謝して新たな日常を意識してみよう。



### 桜島ロードレース大会

十一月九日(金)、爽やかな秋晴れのもと、桜島総合体育館及び桜島溶岩道路にて、第五十五回桜島ロードレース大会が開催された。錦江湾を望む絶景のなか、総勢五百七十五名の一・二年生が、約一ヶ月間の練習の成果を試すように男子が10km、女子が5kmのコースを颯爽と駆け抜けた。

ロードレースは、個人競技であるとともに、団体競技の特性も兼ね備えている。気持ち一つで記録に大きく反映するため、「自分自身との戦い」の競技であることは確かだが、「弱く甘い自分」に飲み込まれそうなきに、仲間への直向きな姿に感化され、もう一度踏ん張ってみようという奮い立たせられ、お互いに刺激を与え、高め合い、励まし合うからである。

またこのロードレースの特性は鶴丸生が受験までの厳しい道のりを切磋琢磨しながら歩んでいくことに類似しているようにも思える。ロードレース大会に向けて走り始めたこの約一ヶ月間はまるで受験に向けての三年間が凝縮されているかのようでもあった。

大会を終え、充実感に満ち溢れた者、記録が伸びずに悔しい思いを抱いた者、それぞれに様々な思いを抱いたことだろう。このロードレース大会で得たものをこれからの日常生活の糧にしてみよう。



### 三年生を激励する会

十一月十三日(火)、毎年恒例の「三年生を激励する会」が行われた。全校生徒は宝山ホールに集合し、東京から招いた、劇団「風」によるシェイクスピアの「ハムレット」を観劇した。シェイクスピアは知っているけれど、作品を観劇したことはないという生徒たちが多い中での上演は、興味深い内容で、三年生にとっては、何より励みとなったようだった。

観劇後、一・二年生から三年生に激励カードと合唱のプレゼントがあった。合唱は練習の成果もあり、先輩方を力づける最高の贈り物となった。「後悔しない学校生活を」という三年生代表の神園さんの言葉は、後輩たちにとって何ものにも変えがたい言葉となった。

十一月十七日(土)、悠学講座が終了した後、文化館において第十回職業選択フォーラムが開催された。鹿児島西ロータリークラブの主催による本フォーラムは青少年の指導力の開発・地域社会への奉仕・国際協力の拡充を目指す活動の一環として毎年行われているが、本年度は本校での実施となった。

コーディネーターのIBS外語学院理事長南徹さん、パネリストに現在活躍する若手の山元将孝F.P.D.大学生鹿兒島主宰、小栗有子鹿兒島大学生涯学習教育研究センター准教授、上釜明大弁護士、吉村あゆみ医師等四名をお招きして活発なディスカッションが展開された。

教養とは何か：働く意義：高校時代はどうあるべきか：などについて話は進み、様々な観点からの貴重な、そしてそれぞれの仕事の対する熱い思いに、みんな真剣に耳を傾けていたようであった。パネリストの高校時代の経験等を交えたお話は、生徒たちにとって、文理選択における貴重なアドバイスとなりメッセージともなった。

### 「食」の重要性

～保健課より～

三年生の皆さん、センター試験も近づき、日々受験勉強に一生懸命取り組んでいることでしょう。最後にものを言うのは体力！体調管理を万全にしてストレスを上手に解消し、睡眠・食事の重要性についてみんなで考えてみましょう。

「食」の環境は、昔に比べて随分変化してきました。その結果、我が国の身長や体重などの体格は向上し、平均寿命も世界でトップクラスとなりました。しかし、その反面、食の社会化・外部化が起こり、最近ではコンビニエンスストアで手軽に食事を済ませる人が多くなりました。便利になった結果食生活は乱れ、糖分や塩分、カロリー、過剰摂取やビタミン、カルシウムなどの不足など、多くの問題が出現し、その問題は、生活習慣病の若年化など心身ともに影響を及ぼしています。このような現況を受けて平成十七年食育基本法が制定され、子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには何よりも「食」が重要であると考えられるようになりました。

給食のない高校生活では、本人・保護者の意識によって食生活に個人差が生じます。ちなみに本校の昼食の弁当持参率は93%と大変望ましい調査結果がでています。皆さんは、ぜひ自分の体に取り入れている「食」に関心をもち、責任を持って正しい選択ができるよう努めてください。

### 耐震工事のお知らせ

生徒館西側の耐震・大規模改修工事は耐震壁も完成し、内部改修工事も順調に進んでいます。生徒館東側のトイレは再度補強工事を行うことになり、皆さんに大変迷惑をかけておりますが、十二月末には終わる予定です。

電気工事は、各階廊下、教室の天井隠蔽配線もほぼ終わり器具の取り付けが始まっています。今後の工事日程ですが、四階内部は仕上げに入っていきます。一・二階も左官補修を経て、黒板取り付け等内部改修となるようです。

十二月の主な工事日程

- 十一月一日 渡り廊下補修クレーン搬入
- 十一月二日 全校停電・登校禁止
- 十二月末 トイレ補強工事